

外部評価の公表にあたって

アジア成長研究所（AGI）は1989年に国際東アジア研究センターとして設置され、北九州の地においてアジアの経済・社会問題を研究しながら国際学術交流を促進するなど、多くの皆様のご支援とご協力のもと、着実に実績を重ね、今日に至っている。

ここに公表する外部評価報告書は、現中期計画（2021-2025）を基に、その3年目にあたる2023年度における当研究所の目的、組織、運営、研究活動の総体について外部評価をいただき、研究所のさらなる機能改善に向けて示唆をいただいたものである。

今回の外部評価は、アジア経済、産業政策及び都市政策分野の国内外で著名な研究者3名に委員をお願いし、2024年10月に実施していただいた。その評価及びその後の検討を経て作成していただいたのが本報告書である。

本報告書は、当研究所の独自性である地方自治体に所属する研究所として学術的研究と共に北九州市に関連する政策的研究の両立という目標に対する活動の多くについて高評価をいただいた。しかしながら、同時に期待される役割を十分に発揮するための、さらなる努力の必要性を指摘している。例えば、研究や地域貢献の対象範囲をより広く九州全体ととらえてはどうか、近年アジアで頻繁に起こっている自然災害についても研究対象としてはどうか、北九州市の行政が政策を形成するときのマインドセットを整える、すなわち統一的な（都市発展の）視点と方向性を提供するというような形の研究所であって欲しいといった意見をいただいている。

指摘された課題を解決すべく「シンクタンクとしての貢献」と「アカデミックな学術研究機関としての貢献」との事業軸に沿い、これらの課題を実際の活動のなかに一層具体化させていきたいと考えている。

ご多忙中にも関わらず業績評価の労をお取りくださった外部評価委員会の3名の委員の方々に、この場を借りて謹んで心から御礼を申し上げます。

2024年11月 アジア成長研究所 理事長 八田 達夫

外部評価の概要

1. 評価方法

中期計画の達成状況、北九州市行財政改革大綱の見直し内容及び当研究所の新たな取り組みについて意見交換を行い、それらに対する評価と助言に加え、次期中期計画期間を迎える当研究所の今後のあり方についてのご提案に関して報告書に纏めていただいた。

2. 外部評価委員会委員 (50 音順)

家田 仁 政策研究大学院大学政策研究科特別教授

大橋 弘 東京大学副学長

木村福成 慶應義塾大学名誉教授

3. 外部評価委員会報告書 別添のとおり